

教育目標		「持続可能な開発のための社会づくりの担い手を育てる」 スローガン 「励まし合い、競い合い、高め合い」				
【重点項目】						
1 人権尊重の精神を基調として、規律と責任を重んじ、喜びや悲しみを共有できる生徒を育成する。						
2 自主・自立的な姿勢や態度を研ぎ、高い志を持って学業のみならず、全てのことに全力を尽くす生徒を育成する。						
3 文化・スポーツ活動に積極的に参加し、組織の一員であることを自覚するとともに、自己の可能性を最大限に発揮する実行力のある生徒を育成する。						
4 ユネスコスクール・キャンディデート校として、ESDを推進するとともに地域の方々や協働し、「地域と共にある学校づくり」を目指し、社会に貢献できる生徒を育成する。						
部	評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果	成果と課題 (評価結果の分析)	改善方策等
総務部	式典などの厳格化と刊行物の充実 学校を取り巻く団体等との関係構築	式典の厳格化と刊行物の充実	・式典において、丁寧な実施計画策定と生徒の式典に対する意識付けの徹底 ・刊行物の企画・編集・校正等の問題点の改善			
		校務分掌間の連携強化	・学内の組織改革から、校務分掌間の報告・連絡・相談の徹底と連携強化			
		育英会・同窓会・近隣地域等との連携強化	・学校を支えて頂いている各種団体・組織との連携 ・地域に関わることで、より良い教育環境の構築化促進			
教務部	本校の教育目標に基づく教育活動の円滑な運営	新教育課程の編成	・時代のニーズを先取りし、建学の精神や教育目標に沿った本校にふさわしい教育課程の編成 ・編成した教育課程の修正や改善についての検証			
		新学習指導要領が求める人材育成を踏まえた授業への改善	・主体的・対話的で深い学びの実現及びESDの視点に立った教育に向けての授業改善 ・上記の実現に向けた校外での研修の推奨及び情報の共有 ・ICTを活用した授業実践の推進			
		指導と評価の一体化を目指した評価方法の充実	・学習評価を通じた学習指導の在り方の見直しや個に応じた指導の充実 ・きめの細かな指導の充実や生徒一人一人の学習の確実な定着 ・学習指導要領に示す目標に準拠した評価や観点別学習状況の評価の確実な実施			
進路指導部	「進路保証」体制の強化	キャリア教育の強化	・「進路シラバス」の策定 ・各コースの状況に応じた進路行事の策定および実施			
		保護者との連携強化	・各種説明会(進路ガイダンス・出願説明会等)の充実 ・保護者向け説明会・講演会の充実			
		指導体制の強化	・各コースとの連携強化 ・授業内容や小テスト内容の精査及び模試分析 ・進学補習・特別授業・学内予備校・模試分析会・学習合宿・キャリアガイダンス等のフォロー体制の充実			
生徒指導部	励まし合い、競い合い、高め合う心をもつ生徒を育成するための適切な指導と支援	生徒が自ら自己実現を図っていくための自己指導能力の育成	・時間を守ることの重要性への理解と、意識・行動面への定着(予鈴準備) ・理由のない遅刻削減の為、生徒・担任との情報共有 ・モラルやマナーについて生徒会との啓発活動の推進			
		いじめのない学校づくり	・いじめ防止基本方針に基づく迅速かつ適切な情報共有 ・いじめ防止対策委員会を中心とした未然防止・早期発見・早期対応のための組織的な取組 ・いじめに関する職員研修の実施			
		生徒の夢の実現と、安心安全な学校生活のための支援の充実	・多様化する生徒に対応できる力を養う研修会の企画検討 ・情報モラルの醸成を図るための定期的な啓発 ・担任や教育相談担当との情報共有・生徒理解の充実			
		不易と流行を意識し新たな知見を取り入れ、生徒のやる気の喚起と主体性の育成	・主体的に学校生活のルールを考えられる体制の構築 ・保護者の意見を集約できる機会の拡大 ・自治会や地域行政と積極的な連携 ・様々なニーズに応じたボランティア活動の推進			
		生徒主体となる生徒会活動の展開	・生徒会・委員会が主体的に行事等を行えるような体制の構築(新しい生活様式を考慮) ・他校との交流を通して生徒会委員会活動の更なる活性化の推進			
国際文化部	自分とは異なる価値観を受け入れ理解しようとする心をもつ教育活動の実現と関連部署との連携	グローバル教育事業の推進	・国内外の他校と交流事業の実施(オンライン・オフラインを含む) ・教職員・保護者・生徒に向けた講演会や研修の実施 ・多様な文化的背景を持つ子供たちの受け入れ体制の構築 ・長短期留学・国内や海外研修の充実 ・海外連携校・姉妹校の拡大 ・アジア圏の留学生の受け入れ継続 ・グローバルな視野を養う研修会の実施(外務省講演等)			
		生徒主体となる文化活動の展開	・文化部の活動の場の拡大 ・薫祭や修学旅行等の文化的行事の充実と意味付け ・ユネスコ・キャンディデートとして国際的視点に立った活動の実施 ・地域に根差したボランティア活動の企画と実践			
		図書・芸術教育の促進	・図書館の更なる充実とその教育的利用方法の検討 ・校内における芸術活動の企画と実施 ・充実した卒業文集の制作と発行			
保健安全部	『命の教育』を意識した、講演会や研修会の計画や運営	生徒の実態把握と、心に寄り添った指導の展開	・教育相談および職員研修の充実 ・生徒が主体的に考え取り組むことのできる保健指導の実践や啓発			
		環境整備の徹底と美化意識の醸成	・環境美化について生徒が主体的に考え行動できる指導の実践や啓発			
		学校安全体制及び学校防犯・防災基盤の確立	・講習会・避難訓練を通して生徒の防災意識を醸成 ・緊急時に正しい判断と行動が取れる生徒の育成			
		生徒の主体性を引き出す体育活動の企画を進め、学校生活の活性化	・生徒会・委員会を中心とした体育行事の企画・運営 ・運動部が誇りとやりがいをもって取り組み、活力ある学校生活の推進			
入試広報部	奈良育英ブランドの確立と安定した入学生の獲得	奈良育英ブランドの確立	・HPでの積極的な教育活動の発信			
		定員充足率100%	・(高入試)専願率対前年増加 ・(中入試)行事参加者の対前年増加、トライアル(プレテスト)受験者の対前年増加			
		広報活動の促進	・従来の方法にとらわれない、新たな広報活動の推進 ・生徒主体で学校の魅力を発信できる体制作りの推進 ・校内における研修会の実施			